

姫路市特別職報酬等審議会

= 第3回会議（令和8年5月18日） =

会議録

（要点記録）

日時：令和8年5月18日（月） 午前9時28分～午前10時42分
場所：姫路市役所本庁舎10階 第5会議室

○ 姫路市特別職報酬等審議会第3回会議次第

- 1 開 会
- 2 議 事
 - (1) 資料説明
 - (2) 意見交換
- 3 閉 会

○ 姫路市特別職報酬等審議会第2回会議出席者

- ・ 委員 10名
- ・ 事務局 6名

○ 開催結果について（要点のみ）

- 1 開 会 (午前9時28分)
- 2 議 事

●会長 【前回の会議での論点整理】

前回の審議会では、各種の客観的資料に基づき、各職の報酬について具体的に審議いただき、また、様々な意見をいただき、その結果、報酬等の額の決定に至った。

報酬等の額の決定については、市長の給料月額を最初に決定し、副市長と議員は市長との職間バランスに基づき、議長と副議長は議員との職間バランスに基づき決定することとした。

市長の給料月額の決定については、審議の視点である人口規模、財政規模、財政状況を踏まえた県下各市及び中核市との比較や、報酬改定が財政へもたらす影響を踏まえつつ、一般職や国の指定職職員の給与の改定率等を基準として、実際に報酬額を試算した4つの案を参考に審議し、最終的に国の指定職職員の給与改定率の累積値を参考に決める案が妥当であるとの結論に達した。その結果、市長の改定額は1.78%の改定率で1,201,000円と決定した。

また、他の職については、副市長と議員は、行政と議会のバランスをとる意味合いから類似の中核市平均における職間バランスに基づき、副市長は982,000円、議員は688,000円と決定した。また、議長・副議長は、議会における役割やこれまでの市議会の考え方を尊重し、議員に対する現行の職間バランスに基づき、議長は827,000円、副議長は750,000円と決定し、この額で答申するということが決定した。

- (1) 資料説明

●会長 この審議会の審議結果については、最終的に市長に答申することになる。本日は答申書の採択にいたるまで審議いただき、この審議会を終了したいと考えている。それでは、答申書の原案の作成をお願いしていたので、事務局から説明を受けたい。

■事務局 【答申書の原案の構成を説明し朗読】

(2) 意見交換

●会長 それでは、答申書について審議いただきたい。なかなかクリアに数値を応答づけるのは難しいと思われるが、答申書案には、いろいろな議論があった経緯や異なる意見があったことが書かれており、比較的きれいに整理できているのではないかと思う。答申書案について、何か意見があればお願いする。

○委員 例えば市長の給料の改定率が1.74%であることや職間バランスがいくらであることなど、議事録にはいろいろな数字が載っているが、答申書には具体的な数字は一切入れないということによいか。

○委員 そこは気になっているところである。

■事務局 過去の答申書では、具体的な数値という形では示さず、改定後の額を示してきている。

○委員 これまでの審議会との連続性があるということも大事であると思うが、今後、定期的開催されることとなる審議会でも検討していくに当たって、どのような書き方がされていけば将来の審議会にとって有益かという観点でいえば、具体的な数値を入れた方がよいという考えもあるかと思う。

■事務局 今回何パターンかの改定率の数値を示した中で、最低の数値を採ったというような流れは議事録には記載している。これまでの答申の例では、改定率は入れていなかったが、ご意見に基づき、どれくらいの改定率になったかを記載したほうがよいのであれば、そのような表現にしたい。

●会長 事務局としてはどちらでも大丈夫ということか。

■事務局 改定率についていろいろ議論いただいた成果として、答申に反映することも1つの案であり、どちらでもかまわない。

●会長 答申書に反映する場合、例えば、「本市の理事級職員の給与改定率の累積値」の後に、括弧書きで改定率を記載するイメージによいか。

○委員 答申書を読んだときに改定率がどれくらいなのかが見えないので、分かりやすさの点からも示したほうがよい。ただ、指定職の給与改定率の累積値が1.74%で、決定された市長の改定率は1.78%と差が出てくるので、そこは微妙な扱いになるかと思う。

■事務局 改定率については、記載していきたい。

●会長 記載することに反対の意見はないか。

○委員 先ほど提示された改定率の最低値が1.74%と言われたが、あたかも1.74%の改定率が最低であったかのように聞こえた。たしかに提示された4つの案のうちの1.74%を参考にすると決まったが、資料には0.1%の改定率から記載があり、提示された改定率1.74%よりも低い改定率が考えられることも質問し、確認した。そこがうやむやになっているのがどうかと思う。

いろいろ改定率の幅があり、他都市と比較し、その上でこの改定率になったというような言い方をしてもらわないといけない。改定率の最低値は1.74%ではないとの認識であるがいかがか。

○委員 私の理解では、示された4つの数値は単なる数値ではなくて、例えば市の理事級職員の給与改定率の累積値であるとか国の指定職の同累積値であるなど、意味のある数値であった。

○委員 先ほど4つの数値の中で、最低の数値を採ったと言われたので、そこが引っかかった。

○委員 本来はもっと改定率の幅があったが、議論の中では主に4つの理由のある改定率の数値を扱った。そのあたりの意味合いを付けることができれば。

○委員 そのようにしてもらったほうがよい。

■事務局 先ほどの説明は少し言葉足らずだった。最低の率を含めて議論したことについても、表現を工夫したい。

●会長 改定率の幅の話と、数値を記載するかどうかの2点のほかに、ご意見があれば。

○委員 【意見なし】

●会長 それでは、この2点について修正をしていきたい。一部修正後の答申書の内容の確認については、会長の私に一任いただきたいと思うが、よろしいか。

○委員 【異議なし】

●会長 答申については、私が市長に答申書を提出させていただく。日程については、速やかな改定を答申するというところで、来週から再来週くらいになろうかと思われる。これで諮問された審議事項が終了した。ありがとうございました。

3 閉 会 (午前 10 時 42 分)